



Sekiguchi Global Research Association



関口グローバル研究会

未来人力研究院

今回の日韓アジア未来フォーラムでは、日本と韓国の先駆的な発展経験が東アジアの持続可能な成長と域内協力にどのように貢献するかという問題意識に基づき、著しく成長しつつある物流ネットワークの域内協力をキーとして「アジア経済のダイナミズム」を展望したい。

プログラム:

【基調講演】

「アジア経済のダイナミズム」

榊原英資 さかきばら えいすけ
インド経済研究所理事長・青山学院大学教授

第1部

【報告 1】

「北東アジアの多国間地域開発と物流協力」

安 秉珉 アン ビョンミン
韓国交通研究院ユーラシア北朝鮮研究センター所長

【報告 2】

「GMS(グレート・メソ・サブ リージ ョン)における 物流ネットワークの現状と課題」

ドマン ホーン 桜美林大学経済・経営学系准教授

第2部

【自由討論】

進行及び総括:金雄熙 キム ウンヒ
仁荷大学国際通商学部教授

ミニ報告:「アジアハイウェイの現状と課題について」

李鋼哲 リ コウテツ
北陸大学未来創造学部教授

- ・日韓同時通訳付き
- ・フォーラム終了後に懇親会があります

第14回日韓アジア未来フォーラム・第48回SGRAフォーラム アジア経済のダイナミズム — 物流を中心に —

日時: 2015年2月7日(土)午後1時30分～午後4時30分

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟国際会議室

主催: (公財)渥美国際交流財団/関口グローバル研究会(SGRA)

共催: (財)未来人力研究院(韓国)



会場アクセス

参加申込み: 2015年1月31日までに お名前、所属、e-mail等の連絡先をご記入の上参加申込みをしてください。

渥美国際交流財団/関口グローバル研究会(SGRA)

e-mail: sgra-office@aisf.or.jp

Tel: 03-3943-7612 Fax: 03-3943-1512

アジア経済のダイナミズム -物流を中心に- ゲストスピーカー



榊原英資(さかきばら えいすけ) 「アジア経済のダイナミズム」

〔基調講演 要旨〕

中国やインド等の新興市場国が高い成長を続けています。中国もインドも19世紀初めまでは世界の2大経済大国。“リオリエント”現象とも呼ばれています。インドネシア等東南アジア諸国も高い成長を続けています。日本と韓国、台湾等が先行し先進国になっていますが、次第に成長センターは西に移っています。おそらく20年後にはインドの成長率が中国のそれを越えていくでしょう。2050年のGDPでは中国がアメリカを抜いてナンバーワン、インドはナンバースリーになると予測されています。

〔講師 プロフィール〕

東京大学経済学部卒、1965年に大蔵省に入省。ミシガン大学に留学し、経済学博士号取得。財政金融研究所所長、国際金融局長を経て財務官に就任。1999年に大蔵省退官、慶應義塾大学教授、早稲田大学教授を経て、2010年4月から青山学院大学教授



安秉珉(アン ビョンミン:韓国) 「北東アジアの多国間地域開発と物流協力」

〔報告要旨〕

最近、北東アジアにおいては国境を越える多国間開発事業が活発に行われています。中国は『1帯1路』という『シルクロード構想』を、韓国は『ユーラシアイニシアチブ』、ロシアは『ユーラシア連合』を推進しています。こうした構想は国際協力を前提にすることです。特に北朝鮮、中国、ロシア、モンゴルなどの国々は多国間共同開発、共同運営という新しい協力方式を中心に交通、物流施設を建設しています。北東アジアの交通、物流協力の実状と今後の展望を中心に発表します。

〔講師プロフィール〕

韓国檀国大学法学部卒、筑波大学社会科学研究所修了。1983年に国会法制司法委員長補佐官、韓国交通研究院、国連ESCAP、UNDPの国家専門家、韓国交通研究院北東アジア研究室長、動向分析室長、北朝鮮研究室長を経て2014年11月からユーラシア北朝鮮研究センター所長



Do Manh Hong(ド マン ホーン:ベトナム) 「GMS(グレート・モン・サブ・リージョン)における物流ネットワークの現状と課題」

〔報告要旨〕

GMS経済協力プログラムの中で、輸送インフラ整備は最も積極的に進められてきたプロジェクトである。なぜならこのプロジェクトは、物流ネットワークの形成を推進することによって国境を越えたモノ、人、マネー、情報と技術の交流促進の効果で、同地域の経済社会の発展を導くことが期待されるからである。本報告は、これらの経営資源の国際移動という視点から、同地域での物流ネットワークの現状を分析し、ソフト(制度など)とハード(インフラシステム)の両面に関わる課題を検討する。

〔講師プロフィール〕

1990年 National Economics University(ベトナム)経営学部卒業。2003年桜美林大学国際政治経済学研究科学術博士号取得。早稲田大学社会科学総合学術院(旧社会科学研究所)日本学術振興会特別研究員を経て、2008年から桜美林大学ビジネスマネジメント学群准教授。